

長崎県看護協会 会報

発行所 公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL(0957)49-8050(代) FAX(0957)49-8056
発行責任者 西村伊知恵
印刷 株式会社インテックス



Nagasaki Nursing Association

令和5年 年頭のごあいさつ 看護協会 会長/副会長/専務理事	2	地区支部だより	6~7
2023年 今年の抱負インタビュー ～年女年男の方々に聞きました～	3	病院紹介 JCHO諫早総合病院	8
コロナ禍でのナースのつぶやき	4~5		

看護部理念

地域を支える信頼の看護



JCHO 諫早総合病院

迎春

今年もよろしく お願いいたします

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、オミクロン株の感染力の強さに先が見えない不安と恐怖を覚える日々が続きました。そんな中、皆様方が真摯に看護に取り組んでくださる姿には胸を打たれ、心から感謝し、尊敬の念を抱きました。3年間の歳月で分かてきたことも増え、ウィズコロナの生活が徐々に広がっています。今年こそは、明るい日々が訪れますように。皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今年も変わらぬご支援を賜りますようにどうぞよろしくお願いいたします。

会長 西村 伊知恵

新年あけましておめでとうございます。

長期化するコロナウィルス感染拡大の状況下で、専門職として、日々ご苦労されている皆様の姿勢に敬服するばかりの一年でした。

今年こそ穏やかな年にと願うばかりです。厳しい社会情勢の中にあつても、会員の皆様と一緒に学び、働きやすい環境づくりを目指す看護協会として、充実した年にしたいと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。

副会長 谷 貴子

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかな新年をお迎えのことと思います。今年卯（うさぎ）年、今年こそは、これまでの厳しい環境から一気に跳びはねて、新たな成長に向け、良い年としたいものです。本協会は、皆様方と一緒に目標に向かって、充実した年にするために、一人ひとりのお力を借りながら、看護職を支援する職能団体としてその役割を果たしていきます。昨年同様、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

副会長 日野出 悦子

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

様々な状況や環境にある、全ての会員の皆さまに必要とされる看護協会であり続けるために、皆さまが学び合う看護協会となるよう、兎の上り坂のように、継続教育の充実をより一層図ってまいりたいと存じます。

ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

副会長 木下 日出美

新年、あけましておめでとうございます！

会員の皆様のご協力のお陰で何とか年を越すことが出来ました。まだまだ課題は山積みです。会員の皆様の声が届く、看護協会を目指します。今年卯年。ぴよぴよ跳ねる元気な看護協会となりますように皆様と共に頑張ってください。どうぞ宜しくお願い致します。

専務理事 余里 康子



2023年

今年の抱負インタビュー

卯年生まれの皆様にご協力いただき、
2023年の抱負を掲載しました!!



長崎大学病院 集中治療部
江川 徹

周囲の方々に支えられ、三度目の年男を迎えることができました。今年の抱負は、フリティカルケア特定認定看護師として、実践力・教育力を向上させることです。ウサギのようにグッと力を蓄えて、ピョンと飛躍できるよう頑張ります。



こども医療福祉センター 副看護部長
堀 ユカリ

定年後はテニスをして楽しむと考えていましたが寄る年波に勝てず膝を壊し諦めました。そこで初めて楽器を学んでみることにしました。認知症の母に私の「浜辺の歌」を聞かせたい。60歳の本年の目標です。



うさぎはかわいいイメージがあり、卯年でいいでしょ♪といつも周りに自慢しています。アラフィフになり年齢を感じることが多くなりましたが、うさぎのかわいさに負けないうにかわいく年を重ねていきたいです。



長崎市医師会看護専門学校
第1看護学科 専任教員
吉本 直子

教員2年目となり、今年度は2年生担任を務めています。まだまだ教員として未熟で、教育とは何か悩み考え四苦八苦しています。5年間で「患者さんに笑顔と元気を届ける看護師」の育成をし、看護のすばらしさを伝えていきたいです。また、今年度も国家試験合格率100%を目指し全力でサポートしていきたいと思います。



向陽高等学校・看護専攻科
森田 弘美



虹ヶ丘病院
鈴木 清美

看護師として働きだして、気づけば16年目になり、中堅よりも上になってきましたが、まだまだ新人の気持ちを忘れずウサギのように飛び跳ねて愛嬌のよい年になりたいと思います。



諫早療育センター
石倉 あゆみ

現在、准看護師として働く傍ら正看護師の資格取得に向けて看護学校へ通っています。令和5年は習得した技術を安全、安楽に行えるよう技術の向上を目指します。更に国試に向けて知識を蓄え成長する年にしたいと思います。



2023年は認知症看護認定看護師になって3年目の年となります。今までは院内での認知症、せん妄対応を主にやっていましたが、今年は地域にも目を向けた活動がしたいです。さらに、息子と一緒に風呂に入るために(なるべく)定時帰宅を(できれば)目指します!!



佐世保共済病院
久田 大貴

卯年生まれの傾向は“もの静かで落ち着いた傾向”とネットにあります。ひとつも当てはまりません。ひとついえるのは、ウサギのようにフットワークが軽く、美味しいものがあるとすぐにとんで行きます。よく見て、よく聞き、落ち着いた年になるように精進します。



小江原中央病院
古川 千晴

with コロナ生活となって3年が経過していろいろな意見が出てきたのでつぶやいてみました。

コロナ禍でのナース

コロナ禍でのナースのつぶやき



休まないといけないスタッフがいると、休めないスタッフへのしわ寄せが行く

職場で孤食 食事が楽しくない



1年目2年目の離職率が高い

コロナに対する理解力が一般の人と看護師と差がありすぎる



患者さん、家族からのクレームが多く、「コロナ扱いされてる」と逆切れされる

コロナに自身がなると、「看護師としてどうなの?」「感染対策委員としてどうなの?」とパワハラを受ける



家族団らんが恋しい

長期休暇でも、どこにも行けないので子供がかわいそう 我慢させてしまっている



マスクで表情筋がダルダル

フェイスシールドで視力が低下



常に N95 マスク装着で鼻根が色素沈着

未だに素顔が分からない人がある



旅行に行きたい

ワクチン打ちたくないけど、打たないといけない雰囲気…個人の権利は?



患者さんの面会を5分でもいいかららせてあげたい

ーすのつぶやき

コロナ禍でのナースのつぶやき



感染対策しない医師がいる😡。PPE 付けて !!

認知症患者さんが安静守れずに拘束する ADL 低下、褥瘡、不必要なバルーンカテーテル挿入など無駄な医療行為が多くなった



筆談→患者さん見えない 声かけ→フィルター音が大きく難聴の患者さんに届かない コミュニケーションが取れず薄い看護しか出来ない

助成金の行方が不透明 どこへ…??



フル PPE で汗だくなのに、痩せない…なぜ？

コロナの対応が施設間で異なるため、連携がとりづらい



コロナ対策で 2 重手袋して血管探せず、フェイスシールドで眼前が曇り、採血もルートも取りづらい !!

物価上昇、賃金は上がらない現状…生活が苦しい



職場がギスギスしている 業務以外の会話ができずに心が休まる時間がない

業務が増えた。荷物運び、洗濯ものの運び、おむつ不足なども家族への電話連絡が多い クレームも多い 一人一人に対応できない !!



家族からの状態確認の電話が頻回 その対応をせざるを得ない

毎日コロナ対応しており、いつ自分がコロナになるかと思いながら対応をしている。PPE のおかげで罹患していない



【行きたいシリーズ】

・推しのライブ ・旅行 ・県外 ・温泉 ・スポーツ観戦（野球・大相撲 etc）
・ディズニー ・USJ ・飲み会 ・サウナ

つぶやき足りない方は
看護協会のお問い合わせ
フォームまでお願い致します
広報委員会より

地区支部だより



各支部の活動やお知らせをお届けします。



県南支部

支部長 糟谷 操子

新年あけましておめでとうございます。

卯年には「大きな飛躍・向上」という意味があるそうです。今までの数年間から大きく「飛躍」し、皆様の生活が大きく「向上」する年でありますように願っております。

県南支部では、10月29日に看看連携交流会で「地域を支える看護職連携を考える」というテーマで長崎県看護協会の看護職連携構築ネットワーク会議との合同開催となりました。11月10日に卒後2年目看護職員を対象に「自己の看護実践を振り返り、課題を明確にする」というテーマで対面での研修を開催、11月12日のリスクマネージャー交流会は「認知症患者の理解を深めて事故リスクを減らすケアを考えよう」というテーマでWEBでの研修を開催いたしました。各研修会でのグループワークの中では受講者同士で活発な情報交流ができ、学び多い機会となりました。

また、12月3日の看護研究会、12月10日のふれあい看護体験とともに、100名を超える参加者の皆様へ向けてWEB開催できたことを大変嬉しく思います。

最後になりましたが、県南支部事業へのご協力に感謝を申し上げるとともに、本年もよろしくお願い申し上げます。



県央支部

支部長 中尾 理恵子

あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症に悩まされ続け3年経過です。日本産の薬も使用され始めました。インフルエンザと同様で共存していくしかないようです。最前線の看護職の皆様本当にご苦労様です。

さて、県央支部では10月20日、リスクマネージャー交流会で「訪問看護ステーションにおけるリスク」について3施設から発表、参加者26名と共にGWをし充実した交流会となりました。病院と訪問看護ステーションの合同の交流会は初めてですが、「地域包括ケアの推進」を考える上では、看看連携にとどまらず、多職種との連携もこれからの課題であると思われます。12月4日、研修会は大牟田市三池病院精神科医富松健太郎先生から演題「コロナ禍を上手に乗り切るために」で、参加者58名でした。『質より量の睡眠確保と特に若い方は食べて下さい』、また日本人の特性を生かし、「わざとゆっくりー、優しくする、笑おう」とのメッセージで楽しいご講演でした。同日開催の施設代表者会議(27名参加)は①タスク・シフト/シェアと業務改善の現状と課題、②看護協会会員増対策についてGWをしました。R4年度の今後の事業予定は、2月4日、「困難事例」を通して保健師と看護師等からの実践報告とGWです。また3月5日に情報交流会とし、各施設の紹介と課題、小さな業務改善、施設が新型コロナ感染症の経験などを発表頂く予定です。



リスクマネージャー交流会



研修会及び交流会



施設代表者会議



県北支部

支部長 福田 由美子

新年あけましておめでとうございます。

県北支部の事業運営委員会は、高校生を対象とした「ふれあい看護体験」の実施を行っています。新型コロナウイルス感染症の流行や感染拡大に伴い、令和2年度より病院での実施を中止せざるを得ない状況が続いています。

そこで今回も「ふれあい看護体験」の代替えとして、看護師の活動紹介、県内の看護系大学と佐世保市看護系専門学校の紹介を含め、「看護師の魅力」と題してパンフレットを制作しました。

看護師の活動紹介では、日常業務を写真とコメントで分かりやすくしています。また認定看護師として活躍されている方々にインタビューした内容も載せています。「看護師の魅力」のパンフレットを見ることで少しでも看護に興味を持ていただければ幸いです。

令和5年は「ふれあい看護体験」が実施できることを願いながら、支部活動を頑張っていきたいと思っています。





下五島支部

支部長 岡 知美

昨年も年間を通して島内でも新型コロナウイルス感染症の影響を受けてきました。そのような中、現在放送中の朝ドラマの舞台に短期間ではありましたが、五島が選ばれ、少し明るい話題となっています。

離島就業看護職員研修では、看護キャリア支援センターや各支部の皆さんのご協力を得て、離島配信研修と兼ねて開催することができました。「アドバンス・ケア・プランニング」離島におけるACPの実態と課題をテーマに活水大学看護部 馬場美保子先生による講演でしたが、各支部からも意見、質問を頂き他の離島の情報を知り得ることができました。2月には、つばきマラソンが開催される予定で、ボランティア活動で、地域のイベント協力をしていく予定です。

今年も皆様、宜しくお願い致します。



上五島支部

支部長 中尾 由香

支部活動報告です。10月にWEBにて開催された研修会①「慢性腎臓病(CKD)について」参加者22名②「アドバンス・ケア・プランニングについて」参加者16名でした。そして今年度2回目となる「まちの保健室」を11月に開催、51名を対象とし血圧測定や体脂肪測定・健康相談を行いました。また12月には町主催の駅伝フェスティバルへの救護・看護の運営協力を行い地域の皆様とふれあうことが出来、支部活動の広報にも繋がったのではと思います。新しい年を迎えました。今年も更に活動内容を充実させて参りますので、ご協力よろしくお願い致します。



壱岐支部

支部長 鋸崎 くみ子

新年あけましておめでとうございます。コロナも3年となるとwithコロナ『経済を止めず、感染を拡大させない』ということで、昨年から壱岐の方でも、大きなイベントであるサイクルフェスタやウルトラマラソンが開催されるようになりました。

支部活動の方も、2年ぶりにまちの保健室の開催や研修会等、感染対策に努めながら少しずつ活動を広げています。

10月15日(土)は離島就業研修:「亡くなられた患者さんに対して、その人らしさを保つケア」をZoomで開催しました。エンゼルケア時の感染対策や、グリーフケア等、普段詳しく学ぶ機会が少ないため、受講者からは、「救急の場における家族ケアが大変参考になった」「新しい学びが多かった。自宅に帰られてからの変化まで考えたことがなかった」などの意見があり、実践に活かせる研修となりました。

今年度も会員の皆様のお役に立てるような研修を計画し、活動を進めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



対馬支部

支部長 武末 浜枝

対馬支部では7月23日に支部研修会を行いました。コロナ感染拡大中であつた為、2施設でのオンライン研修とし、島内の看護職員が参加しました。長崎県精神医療センターの精神科認定看護師・山中利文先生に講師を依頼し、職場のメンタルヘルスの研修会が行われました。先生から究極のひとは、「死ぬこと以外は掠り傷」でした。ストレスを溜めない様に日々の業務に取り組んで行こう、前向きに行こうと感じました。また、まちの保健室では地域のイベントに参加しました。10月のキラキラウォーキング、11月の神話の里ウォーキングに参加し、グッズの配布、健康相談や血圧測定を行いました。久々に地域の方々とお話が出来て、交流する事が出来ました。参加する事で私たちもリフレッシュした気分になり、元気をもらいました。今後も地域への行事に参加し、積極的に活動を行って行きたいと思ひます。



オンライン研修



キラキラウォーキング



神話の里ウォーキング

病院 紹介

JCHO諫早総合病院

当院は長崎県県央地区に位置する病床数323床の急性期医療を担う中核病院です。「仁愛—思いやり—いつくしむ心—を大切に—」の病院理念のもと、日々、地域の皆様が安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう活動しており、今年度からは特にがん看護に力を入れています。

国民の二人に一人ががんに罹患する中、がんの治療は多様で経過が長期にわたるため、患者さんは日々の暮らし方から治療等について葛藤と選択を繰り返します。当院のがん登録件数は年間約1000件を超え、増加傾向にあります。診断結果や治療方針の選択の説明に同席し、意思決定を支援する必要がありますが、支援率は30%未満で経過していました。これまでがん関連の専門および認定看護師が横断的に各部門や多職種につないでいましたが、対象となる患者さんの抽出ができていないこともありました。

今回、緩和ケアチームや地域連携室で患者さんの抽出方法から支援までのプロセスやシステムを見直しました。これからはより多くの患者さん、ご家族の意思決定を支援し、患者さんの気持ちや価値観に向き合い、在宅療養や緩和ケアなど患者さんが望む医療を提供していきたいと思えます。

緩和ケアラウンド中（患者図書室前で）
麻酔科医師、臨床心理士も一緒に！



専門看護師、認定看護師、薬剤師さんも
一緒にカンファレンス



緩和ケア委員会



みな真剣！院内緩和ケア研修では
意思決定についてグループワーク



今回のプロジェクトチーム！
放射線治療医も巻き込みました！



中庭では患者さんとお話することもあります



<御意見募集中>



お問い合わせ用QRコード

看護協会あるいは会報
誌への御意見・御要望を
お気軽にお寄せ下さい!!

お問い合わせ

- ① QRコードを読み込む
- ② 必要事項とお問い合わせ内容を記載
- ③ 確認画面をクリック

